

日中経済貿易センター「招商引資交流会」の概要

岡山県上海事務所 馬小琳

(日中経済貿易センター上海事務所)

日中経済貿易センターの主催により、2015年10月23日に上海で開催した「招商引資交流会」の概要を報告します。

日系企業と他の外国企業との違い

(発言者：上海市外国投資促進中心 羅和慶顧問)

日系企業と他の外資系企業との違いは、日系企業は投資の際の調査期間が長く、研究を重ねたうえ、進出決定までに半年、更には1年を要することもある。欧米系企業と比較したとき、日系企業は慎重であり、投資が成功するよう詳細に検討する。一旦決まると計画通り進め、企業イメージも重視する。

外国人に対するビザ緩和政策

(発言者：上海市外国投資促進中心 羅和慶顧問)

2015年7月より、上海市は上海市の科学技術イノベーション促進政策を後押しするため、外国人ビザの発効基準を緩和することとなった。これまで上限60歳だった就労ビザ取得の年齢制限を緩和するが、全ての外国人に対する緩和ではない。

投資企業に対する開発区のサービス

① (発言者：常州市国際投資促進中心 王薇局長助理)

開発区として、できるだけ日系企業にサービスを提供する。常州市には日系企業の倶楽部があり、年2回、交流会を開催している。また、日本貿易振興機構(ジェトロ)の職員に依頼し、日系企業が抱える問題や困難への理解を深めている。この他、税関、人力資源社会保障局、出入境管理局、商務局及び他の関係機関へ依頼し、

各局への連絡方法に関するパンフレットを作成し、日系企業に配布している。

②発言者：蕭山経済技術開発区管委會 易海平副局長)

外国人の就業許可に関するコンサルティングサービスを提供し、定期的に国際法律事務所の弁護士による、就労及び高級技師のビザ政策に関するセミナーを開催している。

ワンストップサービスは手続に関するサービスであり、工場と会社経営に関するコンサルティングの提供ではない。開発区として入居企業に定期的なセミナーを開催すれば企業は非常に助かり、開発区は頼れる存在となる。

開発区は企業の考えとニーズを踏まえて投資誘致をするべきである。サービス業やメーカーが現地での販売を進めることは企業の基本的な考えであり、特に現地市場の紹介と継続的な情報提供といったサービスに対応するべきである。

(2015年10月)



「招商引資交流会」の様子